

平成19年度 決算報告書

国立大学法人政策研究大学院大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差 額 (決算－予算)	備 考
収 入				
運営費交付金	2,083	2,098	15	(注1)
施設整備費補助金	503	503	△ 0	
補助金等収入	—	3	3	(注2)
自己収入	205	260	55	
授業料、入学料及び検定料収入	200	207	7	(注3)
雑収入	5	53	48	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	206	268	62	(注5)
目的積立金取崩	669	—	△ 669	(注6)
計	3,666	3,132	△ 534	
支 出				
業務費	1,725	1,145	△ 580	
教育研究経費	1,725	1,145	△ 580	(注7)
一般管理費	1,232	816	△ 416	(注8)
施設整備費	503	503	△ 0	
補助金等	—	3	3	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	206	229	23	(注10)
計	3,666	2,696	△ 970	
収入－支出	0	436	436	

○予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、予定より退職給付にかかる過年度からの運営費交付金債務の収益化が多かったこと等により、予算額に比して決算額が15百万円多額となっています。
- (注2) 補助金等収入については、予算段階では予定していなかった国からの補助金事業の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が3百万円多額となっています。
- (注3) 授業料、入学料及び検定料収入については、予定より入学料収入が多かったこと等により、予算額に比して決算額が7百万円多額となっています。
- (注4) 雑収入については、科学研究費補助金等の外部資金間接経費相当額の入や余裕資金運用に伴う財務収益の発生等により、予算額に比して決算額が48百万円多額となっています。
- (注5) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、予算段階では予定していなかった国、独立行政法人及び民間からの奨学寄附金や受託事業の獲得に努めたため、予算額に比して決算額が62百万円多額となっています。
- (注6) 目的積立金取崩については、予算段階では取り崩しを予定していたが、目的積立金を財源とした事業を翌年度以降に実施することとしたため、予算額に比して決算額が669百万円少額となっています。
- (注7) 教育研究経費については、外部資金獲得額の増加により大学改善推進費(学長裁量経費)を要することが少なかったこと及び(注6)の理由等により、予算額に比して決算額が580百万円少額となっています。
- (注8) 一般管理費については、上記(注6)の理由等により、予算額に比して決算額が416百万円少額となっています。
- (注9) 補助金等については、(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が3百万円多額となっています。
- (注10) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、(注5)に示した理由により、予算額に比して決算額が23百万円多額となっています。